

## 香南市公共施設等の適正配置に関する方針(案)に関するご意見について

香南市公共施設等の適正配置に関する方針(案)につきまして、皆様からお寄せいただいたご意見に対する市の考えを公表します。

## ◆パブリックコメント実施結果の概要

1. 意見募集期間 令和6年2月1日(木)～令和6年2月29日(木)
2. 意見受付数 6通
3. 意見総数 22件(うち方針(案)に関するもの18件、方針(案)以外のもの4件)
4. 回答数 18件(うち意見を受けて加筆又は修正したもの3件)

※ご意見につきましては、一部要約しています。

※その他の意見・要望の4件につきましても回答を掲載します。

No.	該当項目	ご意見の概要	市の考え(回答)	加筆・修正の有無
1	方針全体	<p>全体</p> <p>香南市公共施設等を取り上げているのに、内容は建築物に限定されており、更に重要な土木施設が全く欠落しています。</p> <p>この方針案だけが決定され、土木施設に関する方針が無いと、市が公共土木施設の善管義務を果たしていないことになり問題と思います。</p> <p>上下水道施設、市道その他の土木施設の全てについて、いつ頃耐用年を迎えるかの把握をするべきです。そのデータを元に下水管の布設替え工事を計画、積算し、何年度予算で対応するか計画しておかなければなりません。(抜粋)</p>	<p>この度の香南市公共施設等の適正配置に関する方針(案)及び令和6年度の策定を予定している香南市公共施設等適正配置計画については、本市が保有する公共建築物を対象として、マネジメントを推進していくこととします。</p> <p>道路、橋梁、上下水道などのインフラ系の施設については、基本的には継続が前提となり、個別に長寿命化計画等を策定し実行されているものもあることから、香南市公共施設等総合管理計画等の全体的な計画との連携を図りながら維持管理に努めていきたいと考えています。</p>	<p>有</p> <p>インフラ系の長寿命化計画等を追記(P.6)</p>
2	基本理念	<p>基本理念について</p> <p>この方針案の基本理念”子供たちの未来の為に”というよう</p>	<p>今後計画を推進していく上で、財政的な面での説明は避けずには通れない部分であると考えていますが、現時点において</p>	<p>有</p> <p>中期財政計画</p>

		<p>な、抽象的で使い古された副次的な理念を掲げるのではなく、このまま旧 5 ケ町村の合併前の公共施設を維持し続けられ、将来その維持費で市の財政が破綻する。という本当の事(理由)をありのまま市民に説明した上で、将来の財政破綻を防ぐ為に、この方針案の基本理念とする。というようにもっと正直に言うべきと考えます。</p> <p>将来の財政破綻を避けるため(副次的に子供たちの未来の為に)、何年後までに、〇〇億円の公共施設への財政負担を軽減するという具体的な数字を掲げて、市民が行政課題を共有できることを基本理念とするべきと考えます。(抜粋)</p>	<p>将来的な財政状況を推計した数字をもって削減額を提示するのは難しいと考えています。</p> <p>これまでに提示した資料としましては、香南市公共施設等総合管理計画における推計があり、その内容としましては、「公共建築物を単純に全て維持・更新(建替え)した場合の年平均額は 29.2 億円ですが、長寿命化改修の実施や現在使用していない施設の廃止などを考慮した対策を実施すると年平均 24.7 億円となり、今後40年間で年平均約 4.6 億円の縮減が期待できる見込みとなっています。」というのですが、総務省の試算ソフトを使用したものであり、あくまでも概算となっています。</p> <p>今回施設カルテを整備していく中で、施設ごとのLCC(※注1)についても算出するよう作業を進めておりますので、今後はより現実的な数字をもって、財政的な部分でもご説明できる資料を作成していきたいと考えています。</p> <p>(※注1)LCC(Life Cycle Cost、ライフサイクルコスト)とは、製品や構造物などが作られてから、その役目を終えるまでに係る費用を合計したものの。</p>	<p>による収支見通しと今後の維持・更新コストの推計を追加(P.5)</p>
3	基本方針	<p>方針案の各項目に対する意見</p> <p>・<u>新たな施設の建設は、原則建替えとします。</u></p> <p>とありますが意味不明です。新たな施設の建設は新設ですので、原則建替えは日本語としておかしいです。</p> <p>既存の施設を新たにすることは、建替えを原則とする。でしょうか？(抜粋)</p>	<p>表現を下記の内容に改めます。</p> <p>「新たな施設の建設は抑制し、既存の施設の建替えを原則とします。」</p>	<p>有 表記を変更 (P.9)</p>
4	基本方針	<p>方針案の各項目に対する意見</p> <p>・<u>継続して使用する施設は、原則長寿命化とします。</u>(以下省略)</p> <p>今後も利用者が見込まれ、行政サービスの代替性がない場合という事は、その施設は残すという事ですが、原則長寿命</p>	<p>ご指摘のとおり、建替えと長寿命化の費用を比較した場合、長寿命化改修は、躯体に係る費用だけでなく、電気や給排水といった設備の更新が伴う為、結果的に高つく場合があります。</p> <p>今回の方針(案)で長寿命化を原則としているのは、最低で</p>	<p>無</p>

		<p>化は間違っていると考えます。</p> <p>老朽化により寿命が来た施設は、原則建替えにすべきです。長寿命化は、一見費用が安いと一般的に思われがちですが結果的に高くなります。行政職の方が、財政支出の側面を意識しての方針になっていると思います。是非再検討をお願いします。(抜粋)</p>	<p>も本来その建物が持つ物理的耐用年数まで使用することで、20年から30年後に一斉に訪れる施設の建替え時期を先延ばして、支出を少しでも平準化することを目的としているからです。</p> <p>長寿命化の実施には、予防保全の導入が重要な要素となりますが、本市では十分に機能しているとは言い難い状況です。これまで本市が行ってきた修繕方法は、壊れたら直すといった対処療法的な事後保全となっており、これが物理的耐用年数以前に建て替えをしなければならない要因の一つとなっています。予防保全に取り組むことで、躯体の健全度を維持し、突発的な修繕工事を未然に防ぐことができ、経費や業務の軽減も図れると考えています。</p> <p>その上で、将来的な施設のあり方として、継続するにしても同規模で維持なのか、縮小なのか、統廃合なのか様々なケースを検証しながら、施設ごとに検討したいと考えています。</p> <p>施設カルテには今後想定される大規模改修等のスケジュール等も記載し、継続的に施設管理することを考えています。</p>	
5	評価方法	<p>二軸評価による評価と再編方針の決定イメージ</p> <p>二軸評価の考え方</p> <p>市としては、客観的に再編方針の決定をしました。と言わざる得ない事は理解できますが、一見客観的な評価のように見えますが、どこかのコンサルが作ったのでは?と思われるような評価方法となっています。さらに再編(分類)方針が明確になっていません。</p> <p>確かに数値を使っでの評価項目については、客観性もあり分類されるということは理解できます。</p> <p>しかしその他の評価項目を具体的に見ていくと抽象的な表現項目が多く、これを見て、なるほど客観的に評価されている。とは思えません。総合評価への分類結果に恣意性はありま</p>	<p>今回提示させていただいた二軸評価は、それぞれの施設が同様の施設と比較して現在どこに位置付けられるかを見える化したものですので、グループ分けだけをもって、それぞれの施設の今後のあり方を決定するものではありません。(横軸は建物評価として、各施設の主要建物の築年数と耐震性能について点数化し、施設全体(367施設)から偏差値を算出しています。縦軸は機能評価として、施設の利用状況や1人当たりのコスト等の供給・財務面で4項目、設置目的等の公共性や管理運営について代替性等、施設の特性で9項目、津波災害警戒区域に該当していないか等の立地条件で4項目、計17項目について点数化し、施設類型(全 23 類型)ごとに偏差値を算出しています。)</p>	無

		<p>せん。と言える評価基準となっていないからです。</p> <p>この分類をする上で、施設カルテ等の元データがとても重要になります。</p> <p>正確性のある施設カルテ等のデータとしなければなりません。施設カルテ等のデータには細心のチェックを要請します。 (抜粋)</p>	<p>抽象的な表現項目が多い、再編方針が明確になっていない とのご指摘ですが、点数化は廃止や統廃合だけを前提として 訳ではなく、住民サービスや地域のコミュニティの維持、文化 の継承等も、適正配置計画を進める上での重要な要素と考 えておりますので、この評価を基に地域の皆さまや関係団体等 を交えた検討も合わせて行いたいと考えています。</p> <p>今後施設カルテを作成・更新する際には、ご指摘の点にも 留意して作業を進めます。</p>	
6	評価方法	<p>二軸評価による評価と再編方針の決定イメージ</p> <p>財政の観点から考えても、施設を廃上、統廃合するのが、基 本的な方針でなければなりません。</p> <p>当然該当市民は反対する方が多くなると予測されますの で、これに十分説明出来る客観的評価に努めて評価分類し、 二軸評価の A 現状維持、B 建物方針の検討、C 施設利用方針 の検討、D 抜本見直しというような曖昧な表現を避けて、明確 に A 建替え維持、B 長寿命化維持、C 現状のまま維持、D 統 廃合(統廃合の方法、単純統廃合か新設による統廃合かの明 記と廃止施設名の明記)、E 廃止というような記載とし、どれ かに分類されたそれぞれの具体的な施設は例外無くこの方針 で実施します。と明確に、市の意思と覚悟を示すべきです。 (抜粋)</p>	<p>今回提示させていただいた二軸評価によるグループ分け は、それぞれの施設が同様の施設と比較して現在どこに位置 付けられるかを見える化したもので、これをもってそれぞれの 施設の今後の取り扱いを決定するものではありません。</p> <p>個別の施設については、地域の皆さまや関係団体等にお話 を伺いながら今後の取り扱いについて検討します。</p>	無
7	基本方針	<p>二軸評価による評価と再編方針の決定イメージ</p> <p>別の視点で考えてみると、施設によっては香南市公共施設 等の適正配置の枠に囚われず、近隣市町村(例えば南国市、香 美市)と広域公共施設等の適正配置(仮名称)として考えられ る施設もあるのでは?という議論はなされたのでしょうか?</p> <p>例えば、現在運用中の特別養護老人ホーム三宝荘の事業主 体は、香南香美老人ホーム組合ですが、このような分類が可</p>	<p>香南市公共施設等総合管理計画の「第4章 公共建築物再 編の実施方針」におきまして、施設再編の実施手法のひとつと して広域化も例に挙げています。</p> <p>施設を広域で進める際には計画段階からその内容を検討し なければなりませんし、施設を持たないからといっても利用 状況に応じた費用負担が発生することから、必ずしも財政負 担の軽減に繋がるとは言い切れませんが、今後計画の策定を</p>	無

		<p>能な施設があれば、各市が独自に施設を持たなくても、利用者数などで分担負担することで、財政支出を削減できれば、他の市にもメリットがあるので、協議の土俵に上がれるのではないのでしょうか？</p> <p>この方針案ではこの点には全く触れられていませんので、それは別途検討中ということでしたら、ご放念ください。</p>	<p>進める中で導入の可能性について検討します。</p>	
8	基本方針	<p>人口や施設の延べ床面積等で他の自治体との比較をしているが、数字のみの比較ではなく、地域性や地域の文化・教育の実態、人口分布や公共交通、移動手段、など数字以外の大切な要素も考慮した計画をしていただきたい。</p>	<p>今後は財政面の数字や各地域の人口分布等のより詳細なデータを検証するとともに、住民サービスや地域のコミュニティも維持できるように取り組んでいきたいと考えています。</p>	無
9	基本方針	<p>香南市内のどこの地区に住んでいても同様な市民サービスが受けられるよう配慮をしていただきたい。このまま市の計画通りに進むと住む地域によって受けられるサービスの差が大きく開くことが懸念される。サービスの低下する地域ではますます過疎が進み、人口減少が加速することは目に見えている。</p> <p>もしどうしても施設を廃止する場合には、現状のサービスは維持できるよう代替えサービスを計画した上で、地域住民の意見を聴き合意を得たうえで進めていただきたい。</p>	<p>施設の集約化や廃止を行う際には、方針3で述べさせていただいていますように、住民サービスや地域のコミュニティも維持できるように取り組んでいきたいと考えています。</p>	無
10	施設類型ごとの施設の維持管理方針	<p>地域の文化を担う図書館は地域の文化・教育を担う大切な施設である。</p> <p>本来は図書館職員が担うべき児童サービスをかなりの程度ボランティアが担っている。</p> <p>地域の図書館をさらに活性化し、サービスを向上させどの地域に住んでいてもどの学校に通っていても同様のサービスを受けることができることが「子ども真ん中社会」の方針につながるのでは。今後も市立 2 図書館は維持し、更にサービス向上することを期待する。(抜粋)</p>	<p>地域の文化を担う施設が地域の皆さまのボランティアによって支えていただいている事は十分認識しておりますので、そういった点も踏まえて、個別の施設については、地域の皆さまや関係団体等にお話を伺いながら今後の取り扱いについて検討します。</p>	無

11	施設類型 ごとの施設 の維持 管理方針	香我美図書館はグループCに分類されており、存続されるか不安に思う。	今回提示させていただいた二軸評価は、それぞれの施設が同様の施設と比較して現在どこに位置付けられるかを見える化したものです。 個別の施設については、地域の皆さまや関係団体等にお話を伺いながら今後の取り扱いについて検討します。	無
12	基本方針	5町村の合併によってできた香南市に重複した公共施設が多くあり適正化が必要であることは理解できるが、浸水区域内にあるからとの理由で新設はもちろん建替すら抑制するという方針は、赤岡、吉川といった現状全地域が浸水区域とされている町は切り捨てると言われているように感じられた。	浸水想定区域にあるからといって全ての施設の建て替えを抑制するものではありません。必要な施設は今後も継続して維持していく必要があると考えています。 しかしながら、南海トラフ巨大地震の30年内の発生確率が70～80%と想定されている現状で、これまでと同じような考え方で施設の更新は出来ないと考えています。 計画を策定・推進していく際に、施設の今後の取り扱いをについて検討する必要がある場合は、施設ごとに関係者の皆さまと協議します。	無
13	評価方法	集会所等の施設についても今まで改修などを行ってもらえないまま老朽化し、トイレなどの設備も古く使用しづらい利用が減っているのは必然的であり、改修により使いやすくなれば新たな利活用も生まれると考えられる。現状の稼働率だけを見て判断することはやめてほしい。高齢化が進み車での移動が困難な住民にとっては、車に依らず自力で集まれる近隣の公共施設は重要な交流拠点であり、今後より必要とされるものだと思う。	これまでの利用状況や改修履歴を検証して、それぞれの施設の必要性を考慮のうえ、個別の施設については、地域の皆さまや関係団体等にお話を伺いながら今後の取り扱いについて検討します。	無
14	基本理念	赤岡町は文化的な施設やコミュニティー施設が少ない所です。現状では、香南市の補助金をいただいて、その指導に基づいてまちづくりに取り組んでいる最中であり、その拠点となる集会所は極めて重要な役割を果たしています。 適正化を推進することは、やらねばならないことと十分理解をして居りますが、それを進めるにあたっては、背景・経過・現状・将来等について地域の意見を十二分に聞き、将来に禍	赤岡町には絵金蔵や弁天座といった香南市を代表する文化施設があり、日常的なイベントの開催等も行われ文化の継承や賑わいの創出にも繋がっていると考えています。 また集会所につきましては、赤岡町と吉川町は市が所有・管理していますが、野市町・香我美町・夜須町では基本的に地域所有で管理は地元が行っているというように、設置の経緯や運営方法に違いがあります。	無

		根を残さないよう合意の上で慎重に進める事を強く求めます。	今後計画を策定・推進していく際には、そういった点も検討材料とします。	
15	評価方法	別所山集会所ですが、何年か前に耐震化工事が完了しておりますがこれは考慮しておりますか。	別所山集会所は、平成28年度に耐震改修工事が行われていますので、耐震化された施設として評価しています。	無
16	基本理念	以前某会議の席で、某集会所は全く使われていない、外から見てもボロボロで使える状態にない、壊さないかんと 의견が2名から出ましたが、調査すると何十年も経過するが、修繕代が全く計上されていない、使用しないから改修しないのか、改修しないから使用しないのか、因果関係を調査していない、人間が住む家でも何年かには改修は必要、外見だけで判断しないよう、住民との意見交換を強く求めます。	これまでの利用状況や改修履歴を検証して、それぞれの施設の必要性を考慮のうえ、個別の施設については、地域の皆さまや関係団体等にお話を伺いながら今後の取り扱いについて検討します。	無
17	基本方針	赤岡町は文化的な施設やコミュニティー施設が極めて少ない所です。公共施設のマネジメントを進めながらも格差解消、真に必要なものは作っていくべきです。すべては人づくりに通じると私は思います、その人づくりは一朝一夕にはできません、適時・適切な教育、環境作りを望みます。	赤岡町には絵金蔵や弁天座といった香南市を代表する文化施設があり、日常的なイベントの開催等も行われ文化の継承や賑わいの創出にも繋がっていると考えています。 また集会所につきましては、赤岡町と吉川町は市が所有・管理していますが、野市町・香我美町・夜須町では基本的に地域所有で管理は地元が行っているというように、設置の経緯や運営方法に違いがあります。 今後計画を策定・推進していく際には、そういった点も検討材料とします。	無
18	基本理念	うがった言い方ですが「角を矯めて牛を殺す」ことのないよう、慎重に丁寧に十分説明を尽くすよう強く望みます。	今後計画を策定・推進していく際には、それぞれの施設の必要性を考慮のうえ、個別の施設については、地域の皆さまや関係団体等にお話を伺いながら今後の取り扱いについて検討します。	無

その他の意見

No.	該当項目	ご意見の概要	市の考え(回答)
1	その他の意見・要望	この方針案はとても重要であり、パブコメを経て方針案に修正を加えた後に、正式な方針となった場合は、これによって全ての公共施設を分類し、分類後にもう一度、その具体的な施設名の入った分類表を添付して、市民の納得を得る努力をすべきと考えます。その了解を得た後は粛々と方針に従って執行なされれば、市として説明責任も果たしているのでは、順調に進められると考えます。	施設ごとの改修・更新計画につきましては、令和3年度に策定した香南市公共施設等個別施設計画の更新時や、令和6年度に予定している香南市公共施設等適正配置計画策定の際に記載する予定です。
2	その他の意見・要望	市民の意見をパブリックコメントのみで募集することは、毎日の生活に追われている市民にとっては複雑な資料を読むことも意見を提出することもハードルの高いことなので、各地域で市民に丁寧に説明を行い、丁寧に多様な意見を聴いて合意を得てから進めてほしい。	まずは、4月22日から26日の5日間に方針についての説明会を地域ごとに実施する予定です。 また個別の施設については、地域の皆さまや関係団体等にお話を伺いながら今後の取り扱いについて検討します。
3	その他の意見・要望	中組自治会としては(炊き出し訓練の)練習をするに当たり、市の施設の中にその希望に添える調理場があれば貸してもらい、無ければ設置を希望します。(抜粋)	中組自治会は会議などでのいちふれあいセンターをご利用いただいているとのことですが、のいちふれあいセンターの調理室も利用可能となっていますのでご活用ください。
4	その他の意見・要望	子育て世代としては、夏休みなどに行われる子供を対象とした料理教師や工作教室も開催されるのは野市と夜須ばかりで、平日に親が仕事の家庭は車で送迎することができないため参加させることが難しい。近隣施設で開催してもらえれば、子供だけで自転車等で参加することも可能となる。 現在示されている津波浸水想定区域は老朽化した堤防が崩壊することを前提としたものだと言ったが、サイレントパイラー等による補強が可能となれば浸水想定も大きく変化するのではないのか？避難タワーを乱立するより堤防が崩壊しない施策をとってほしい。	イベントの開催方法についてのご意見は関係部署と共有します。 堤防の整備については、市としても、現在国に要望しています。 津波避難タワーの建設に関しては地域ごとにワークショップを開催し、地域の皆さまとその必要性を協議・検討した上で建設をしております。